

災害発生時に相互に支援

高齢者施設における災害時相互支援協定を締結

全県域の会員施設が支援

岩手県社協・高齢者施設協議会（渡辺均会長・会員数360施設）では、東日本大震災における高齢者福祉施設の被災とその後の支援活動の経験を踏まえ、今後の災害発生に備えて、岩手県内の高齢者福祉施設が災害時に相互に支援し合う協定を締結しました。

総括課長が出席し、激励のことばを述べました。

東日本大震災では沿岸部の多くの施設が被災しました。また被災を免れた施設では被災した多くの地域住民を受け入れるなど、これまでには経験のなかつた状況となりました。

現在でも沿岸部の利用者の内
陸部の施設での受け入れや、沿
岸部の施設への内陸部の施設職
員の応援派遣が続いています。
このような中、岩手県社協、
高齢者施設協議会では、これまで
地区ごとの5つのブロック協

括課長 の施設の相互支援協定の締結に向けた取組みを進め、今年2月までにすべての地区ブロックにおいて相互支援協定が整いました。

この度、この地区ブロックごとの協定を踏まえて、全県域における協定を結んだものです。

左から斎藤昭彦県長寿社会課綱括課長、野田信雄副会長（県北ブロック会長）、熊谷茂副会長（両磐ブロック会長）、芳賀潤副会長（沿岸ブロック会長）、渡辺均会長（県南ブロック会長）、工藤勲副会長（中央ブロック会長）、千田充県地域福祉課綱括課長

情 大 岩 會 で 楽

高齢協の芳賀潤副会長（沿岸ブロッック会長）は「東日本大震災の発災時には、物資も情報もない中、施設利用者は

もちろん、施設を頼りに集まつた地域の方々もお世話してきました。これまで個別の施設同士での支援をいただいてきたところですが、同じ仲間同士、助け合つていける仕組みが整えば、今後の対応も円滑に、また効果的に進めていけるものと考えています。

今後は様々なケースを想定しながら、どのようなタイミングでどのような支援ができるのか具体的な協議を進め、できれば年度内に、図上訓練あるいは実地訓練ができるよう進めていきたい。そして一日でも早く、この協定に基づづく体制を構築して、施設利用者はもちろん、地域の皆さん支援の一助となれるようになりたい」と語りました。

また、渡辺会長は「すでに福島県、宮城県、山形県では同様の協定の締結が進んでおり、今後は東北ブロックとしての相互支援協定の締結をめざして、他県との協議も進めていきたい」と語りました。

個々の施設を支える高齢者施設協議会という組織としての体制を整え、個々の施設が地域の拠点として、施設利用者はもちろん、地域住民により一層、信頼される存在となれるよう、これからも取組みを進めていきま

 私たちも「豊かな社会福祉の実現」に貢献します

私たちは社会福祉の発展を願い、福祉の活動を協賛する企業です。明日の福祉を見つめ、地域社会に貢献します。

盛岡地区	岩手県火災共済協同組合
株延命堂	岩手トヨペツ(株)
介護老人保健施設はーとぼーと零石	岩手大崎電気(株)
岩手中部地区	旭エンジニアリング(株)
花巻青果業協同組合	(株)中央コー。ホレー。ション
(株)道奥	(株)岩手標識(株)
(株)嵐山冷機工業所	小田島商事(株)
岩上ビルメン(株)	(株)システムベース
北上済生会病院	介護老人保健施設清水苑
宮古地区	北上済生会病院
久慈地区	介護老人保健施設清石苑
一戸地区	医双熊会 熊坂内科医院
樋祐和会 介護老人保健施設 櫻の里	小山田電業(株)
(医)青松会 一戸クリニツク	済生会岩泉病院
株十文字チキンカンパニー	(株)双熊会
(株)小松製果	八葉山天台寺
株菅文	介護老人保健施設ごすやサンブルグ
県外	日本社会福祉弘済会

ありがとうございます



感謝状を受ける村田憲正代
表取締役社長(右)

これまでの支援に感謝
エフエム岩手へ感謝状贈呈

岩手県共同募金会ではこのほど、これまでの共同募金運動への協力に対して、(株)エフエム岩手に感謝状を贈呈しました。これは、(株)エフエム岩手が1985年の開局以来、長年にわたって共同募金活動に協力してきたことに対するものです。特に、通常の職場募金に加え、毎年、年末には「歳末チャリティーオークション」を開催

し、共同募金活動を広く県民にお知らせしながら、募金活動を推進をすることに大きく貢献してきました。また、「歳末チャリティーオークション」の益金は、市町村社会福祉協議会が行う地域福祉活動のための活動車輌の整備に充てられており、現在も「エフエム岩手」のロゴが入った車両が県内で活躍しています。

(株)エフエム岩手の村田憲正代表取締役社長は「歳末チャリティーオークション」は開局以来、今年で30回目を迎えます。これまで続けてこれたのは、温かい善意を寄せていただいた県民の皆様、会場提供やご協賛をいたいたいスポンサー各社様のご支援の賜物であり、皆様に感謝申し上げるとともに、今後も引き続きご支援いただきたい」といさつしました。

岩手銀行労働組合の半澤昌克執行委員長と鈴木拓也書記長が当会を訪れ、使用済み切手3,770枚とプリペイドカード1,025枚を寄贈しました。同組合からの寄贈は2003年度から始まり、今回で12回となります。

寄贈いただいた切手などは、「いわて車いすフレンズ」活動の費用の一部(国内輸送費)として役立てる予定です。



使用済み切手とプリペイドカードを寄贈する半澤昌克執行委員長(右)

これまでの支援に感謝
エフエム岩手へ感謝状贈呈

岩手県共同募金会ではこのほど、これまでの共同募金運動への協力に対して、(株)エフエム岩手に感謝状を贈呈しました。これは、(株)エフエム岩手が1985年の開局以来、長年にわたって共同募金活動に協力してきたことに対するものです。

岩手銀行労働組合の半澤昌克執行委員長と鈴木拓也書記長が当会を訪れ、使用済み切手3,770枚とプリペイドカード1,025枚を寄贈しました。同組合からの寄贈は2003年度から始まり、今回で12回となります。



賑わう店内(左)と、わらび学園の虎舞

県社協障がい者福祉協議会県南ブロック協議会主催による「復興支援販売会」(7月6日)はイオンタウン釜石で開かれ、県南ブロックと沿岸ブロック合わせて21事業所が参加。パン・クッキー・ケーキ・ジャム・自家焙煎珈琲など自家製の商品のほか、手工芸品・革製品・花鉢などたくさんの商品が並び、大勢の方々で賑わいました。オープニングセレモニーでは県南ブ

ロックの松岡静久会長(虹の家)と沿岸ブロックの裏野健一会長(岩泉町社協いづみの園)らが挨拶。わらび学園(大槌町)の利用者が虎舞を披露しました。また、県社協いわて障がい福祉復興支援センター職員らが、訪れた市民に「障がいがある方たちの災害対応のてびき」(要約版)や「おねがいカード」を配布し、周知・普及を図りました。

イオンタウン釜石で 県南・沿岸ブロック合同復興支援販売会

ロックの松岡静久会長(虹の家)

と沿岸ブロックの裏野健一会長

(岩泉町社協いづみの園)らが挨

拶。わらび学園(大槌町)の利用

者が虎舞を披露しました。また、

県社協いわて障がい福祉復興支援

センター職員らが、訪れた市民に

「障がいがある方たちの災害対応

のてびき」(要約版)や「おねがい

カード」を配布し、周知・普及

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による傷害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合保障

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 基本タイプ Aプラン…300円 Bプラン…450円
天災タイプ Aプラン…460円 Bプラン…690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせ下さい。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

団体契約者

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保健サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞ヶ関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

<引受幹事保険会社>日本興亜損害保険株式会社